

食道がん

1	DCF
2	F800
3	F800+オプジーボ
4	F800+キイトルーダ
5	F800+テビムブラ
6	FP700/70
7	FP800/80
8	FP800/80+オプジーボ
9	FP800/80+キイトルーダ
10	FP800/80+テビムブラ
11	パクリタキセル100mg/m ² 毎週
12	オプジーボ+ヤーボイ
13	ドセタキセル単剤70mg/m ²
14	放射線併用FP1000/75

化学療法計画書

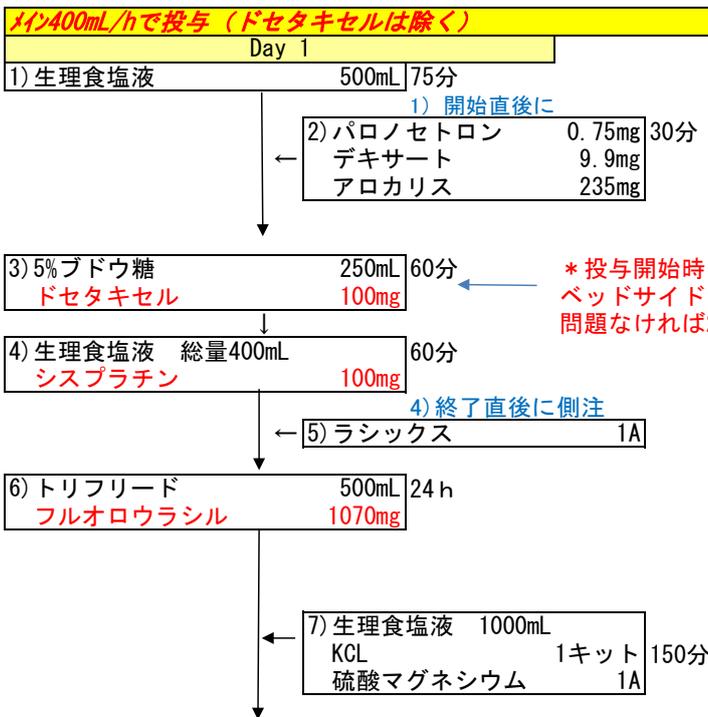
2025年4月改訂

治療法名	DCF			
コース数	1	コース目		
腫瘍種	食道がん			
氏名		♂	年齢	
患者ID	生年月日			
部署	主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
ドセタキセル	70 mg/m ²	↓											↓			
シスプラチン	70 mg/m ²	↓											↓			
フルオロウラシル	750 mg/m ²	↓ ↓ ↓ ↓ ↓											↓ → (5日間)			
パロノセトロン	0.75mg	↓											↓ ↓ ↓ ↓			
デキサート	9.9mg	↓											↓			
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓										↓ ↓ ↓			
アロカリス	235mg	↓											↓			
オランザピン	5mg	↓ ↓ ↓ ↓														
ジーラスタ	3.6mg							↓ (day7)								
治療開始日	2001年8月1日			治療間隔	3週毎			予定コース数	4コース							
身長	150 cm	体重	50 kg		BSA	1.433 m ²										
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min													

投与開始基準	
・ WBC ≥ 3000	・ 好中球 ≥ 1500
・ PLT ≥ 100,000	・ Hb ≥ 9.0
・ AST/ALT ≤ 100, T-Bil ≤ 1.5	(これを満たさないときDOC減量考慮)
・ Cr ≤ 1.2	・ Ccr ≥ 50
	(これを満たさないときCDDP減量考慮)



Day 2-4	
1) 生理食塩液 50mL	全開
デキサート 6.6mg	

2) トリフリード 500mL 24h	
フルオロウラシル 1070mg	

Day 5	
1) トリフリード 500mL 24h	
フルオロウラシル 1070mg	

Day 6	
1) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

翌日まで
* 投与開始時まず5mL早送りし、10分間は50mL/hとしてベッドサイドで嚴重にアレルギー症状を観察問題なければ250mL/hへ

次コース以降の投与開始基準	
・ WBC ≥ 3,000	・ Neu ≥ 1500
・ Plt > 100,000	
・ AST/ALT ≤ 100, Cr ≤ 1.2	
・ PS 0-2	・ 神経障害、浮腫G1以下
・ その他の非血液毒性	G2以下
減量基準	
・ G4の血液毒性、発熱性好中球減少	
・ G2神経毒性	
	→ CDDP60mg/m ² に DOC45mg/m ² に
・ G3以上の下痢・口内炎・食欲不振	
	→ CDDP60mg/m ² に フルオロウラシル800mg/m ² に
・ Cr ≥ 1.5	
	→ CDDP60mg/m ² に

注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

* 1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談 (毎日1日1回体重測定)

* オランザピン5mgはday1 の時から

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	フルオロウラシル(800)				
コース数	1	コース目			
腫瘍種	食道がん				
患者名		♂	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	
開始予定日					
治療内容	Day	1	2	3	4
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21
フルオロウラシル	800 mg/m ²	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓
デキサート	6.6mg	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓
治療開始日		治療間隔		4週間毎	予定コース数
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m ²
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min		

Day 1

投与開始基準
・ WBC>3,000, 好中球>1,500
・ Plt>100,000
・ AST/ALT<2xULN

減量基準
・ WBC<1,000, Plt<25,000
・ 発熱性好中球減少
→フルオロウラシル 600に減量

1) 生理食塩液	50mL	30分
デキサート	6.6mg	
↓		
2) トリフリード	500mL	24h
フルオロウラシル	1140mg	

Day 2-4

1) 生理食塩液	50mL	全開
デキサート	6.6mg	
↓		
2) トリフリード	500mL	24h
フルオロウラシル	1140mg	

翌日まで

Day 5

1) トリフリード	500mL	24h
フルオロウラシル	1140mg	

Day 6

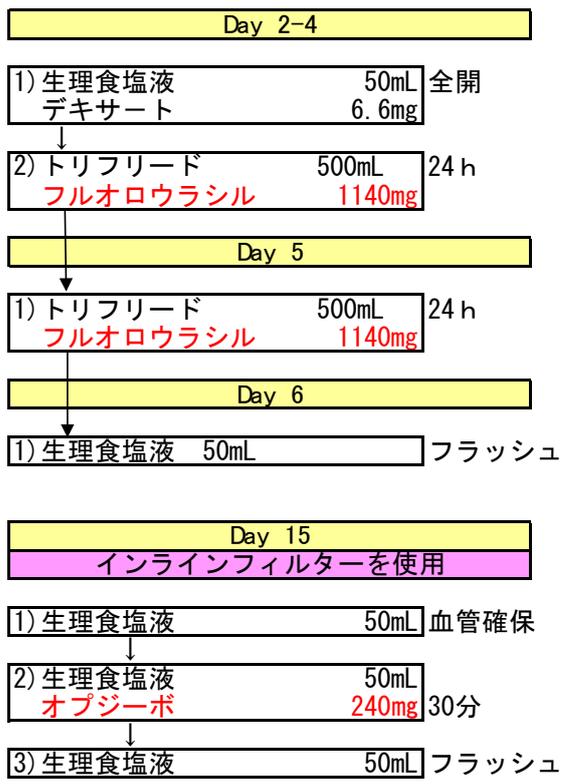
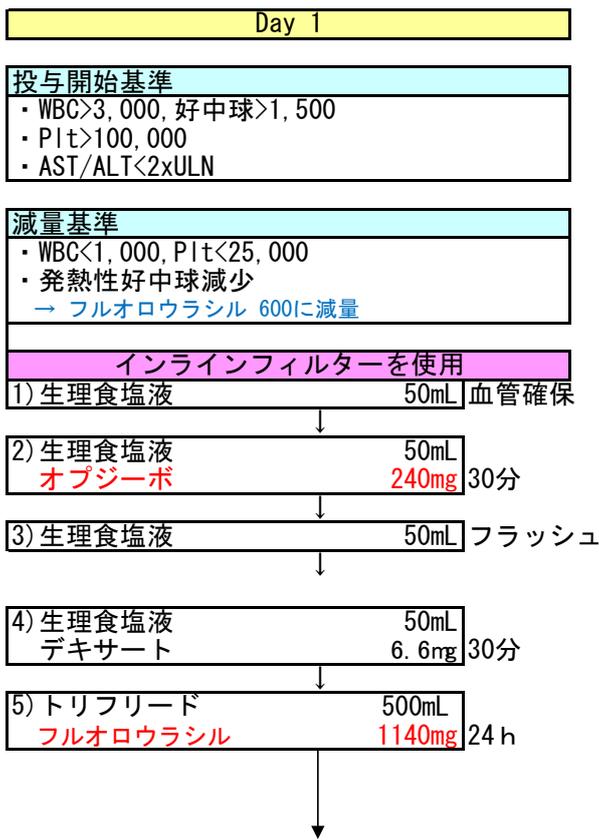
1) 生理食塩液	50mL	フラッシュ
----------	------	-------

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	フルオロウラシル(800) / オプジーボ		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
患者名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日																				
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...				
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28					
オプジーボ	240 mg	↓									↓				↓					
フルオロウラシル	800 mg/m2	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓									↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	
デキサート	6.6mg	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓										↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	
治療開始日																				
身長	150 cm																			
eGFR	60 mL/min																			
		体重	50 kg																	
		BSA	1.433 m2																	
		eGFR/BSA	50 mL/min																	



化学療法計画書

2025年8月作成

治療法名	フルオロウラシル(800) /キイトルーダ		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
患者名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21	
キイトルーダ	200 mg	↓											↓	
フルオロウラシル	800 mg/m ²	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓							↓↓↓	↓↓↓
デキサート	6.6mg	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓									↓↓↓	↓↓↓
治療開始日									治療間隔	3週間毎	予定コース数		コース	
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m ²									
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min											

Day 1

投与開始基準
・ WBC>3,000, 好中球>1,500
・ Plt>100,000
・ AST/ALT<2xULN

減量基準
・ WBC<1,000, Plt<25,000
・ 発熱性好中球減少
→ フルオロウラシル600に減量

インラインフィルターを使用

- 1) 生理食塩液 50mL 血管確保
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL
キイトルーダ 200mg 30分
- ↓
- 3) 生理食塩液 50mL フラッシュ
- ↓
- 4) 生理食塩液 50mL
デキサート 6.6mg 30分
- ↓
- 5) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24h

Day 2-4

- 1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg
- ↓
- 2) トリフリード 500mL 24h
フルオロウラシル 1140mg

Day 5

- 1) トリフリード 500mL 24h
フルオロウラシル 1140mg

Day 6

- 1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

化学療法計画書

2025年12月作成

治療法名	フルオロウラシル(800) / テビムブラ		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
患者名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21	
テビムブラ	200 mg	↓											↓	
フルオロウラシル	800 mg/m ²	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓							↓↓↓	↓↓↓
デキサート	6.6mg	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓								↓↓↓	↓↓↓
治療開始日									治療間隔	3週間毎	予定コース数		コース	
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m ²									
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min											

Day 1

投与開始基準
・ WBC > 3,000, 好中球 > 1,500
・ Plt > 100,000
・ AST/ALT < 2xULN

減量基準
・ WBC < 1,000, Plt < 25,000
・ 発熱性好中球減少
→ フルオロウラシル600に減量

インラインフィルターを使用

- 1) 生理食塩液 50mL 10分
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL 60分
テビムブラ 200mg
- ↓ 忍容性あれば2コース目から30分で
- 3) 生理食塩液 50mL 10分
- ↓
- 4) 生理食塩液 50mL 30分
デキサート 6.6mg
- ↓
- 5) トリフリード 500mL 24h
フルオロウラシル 1140mg

Day 2-4

- 1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg
- ↓
- 2) トリフリード 500mL 24h
フルオロウラシル 1140mg

Day 5

- 1) トリフリード 500mL 24h
フルオロウラシル 1140mg

Day 6

- 1) 生理食塩液 50mL 全開

化学療法計画書

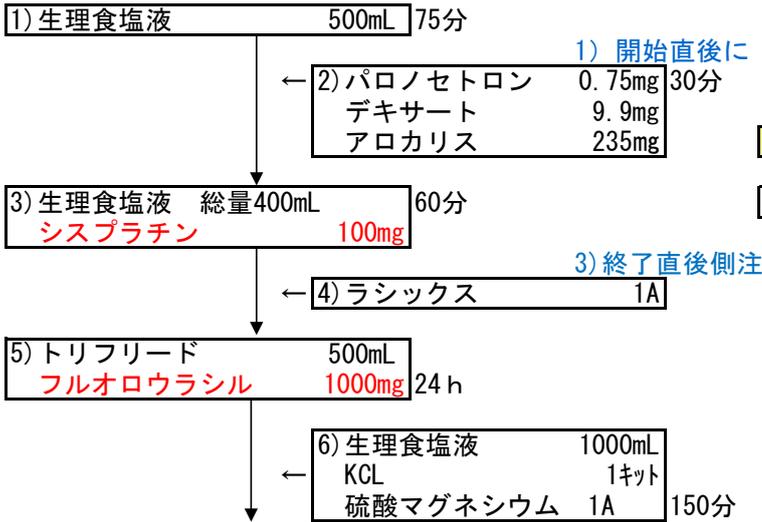
2025年4月改訂

治療法名	FP 700/70															
コース数	1	コース目														
腫瘍種	食道がん															
患者名		♂	年齢													
患者ID	生年月日															
部署		主治医	科	Dr												
開始予定日																
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
フルオロウラシル	700 mg/m ²		↓↓↓	↓											↓↓↓	↓
シスプラチン	70 mg/m ²		↓												↓	
パロノセトロン	0.75mg		↓												↓	
デキサート	9.9mg		↓												↓	
デキサート	6.6mg			↓↓↓											↓↓↓	
アロカリス	235mg		↓												↓	
オランザピン	5mg		↓↓↓												↓↓↓	
治療開始日																
治療間隔									4週間毎						予定コース数	
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433		m ²							
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50		mL/min										

Day 1

投与開始基準
・ WBC>3,000, 好中球>1,500
・ Plt>100,000
・ AST/ALT<2xULN
・ Cr<1.2 (CCr 60未満ではCDDP減量考慮)

メイン400mL/hで投与



Day 2-4

1) 生理食塩液	50mL	全開
デキサート	6.6mg	
↓		
2) トリフリード	500mL	24h
フルオロウラシル	1000mg	

Day 5

1) 生理食塩液	50mL	フラッシュ
----------	------	-------

減量基準
・ WBC<1,000, Plt<25,000
・ 発熱性好中球減少
→CDDP 60, フルオロウラシル 600に減量
・ Cr>1.5
→CDDP 60に減量

注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

- *1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談 (毎日1日1回体重測定)
- *オランザピン5mgはday1 の夕から

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	FP 800/80			
コース数	1	コース目		
腫瘍種	食道がん			
患者名		♂	年齢	
患者ID	生年月日			
部署		主治医	科	Dr

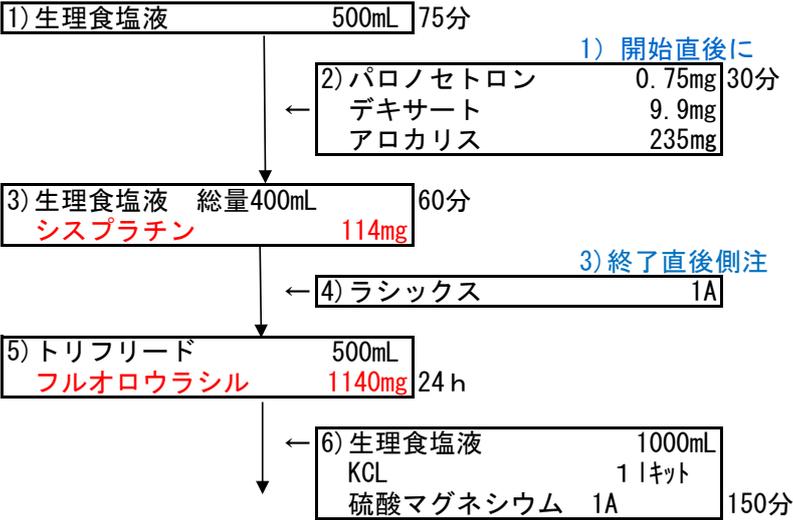
開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
予定日		1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
フルオロウラシル 800 mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓									↓	↓
シスプラチン 80 mg/m ²		↓													↓	↓
パロノセトロン 0.75mg		↓													↓	↓
デキサート 9.9mg		↓													↓	↓
デキサート 6.6mg			↓	↓	↓										↓	↓
アロカリス 235mg		↓													↓	↓
オランザピン 5mg		↓	↓	↓	↓										↓	↓
治療開始日																
治療間隔									4週間毎						予定コース数	
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433 m ²									
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min												

Day 1

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> WBC>3,000, 好中球>1,500 Plt>100,000 AST/ALT<2xULN Cr<1.2 (CCr 60未満ではCDDP減量考慮)

メイン400mL/hで投与



注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

- *1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談 (毎日1日1回体重測定)
- *オランザピン5mgはday1の夕から

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開	デキサート 6.6mg
↓	
2) トリフリード 500mL 24h	フルオロウラシル 1140mg

翌日まで

Day 5

1) トリフリード 500mL 24h	フルオロウラシル 1140mg
---------------------	-----------------

Day 6

1) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
---------------	-------

減量基準

- WBC<1,000, Plt<25,000
- 発熱性好中球減少
→CDDP 60, フルオロウラシルに減量
- Cr>1.5
→CDDP 60に減量

化学療法計画書

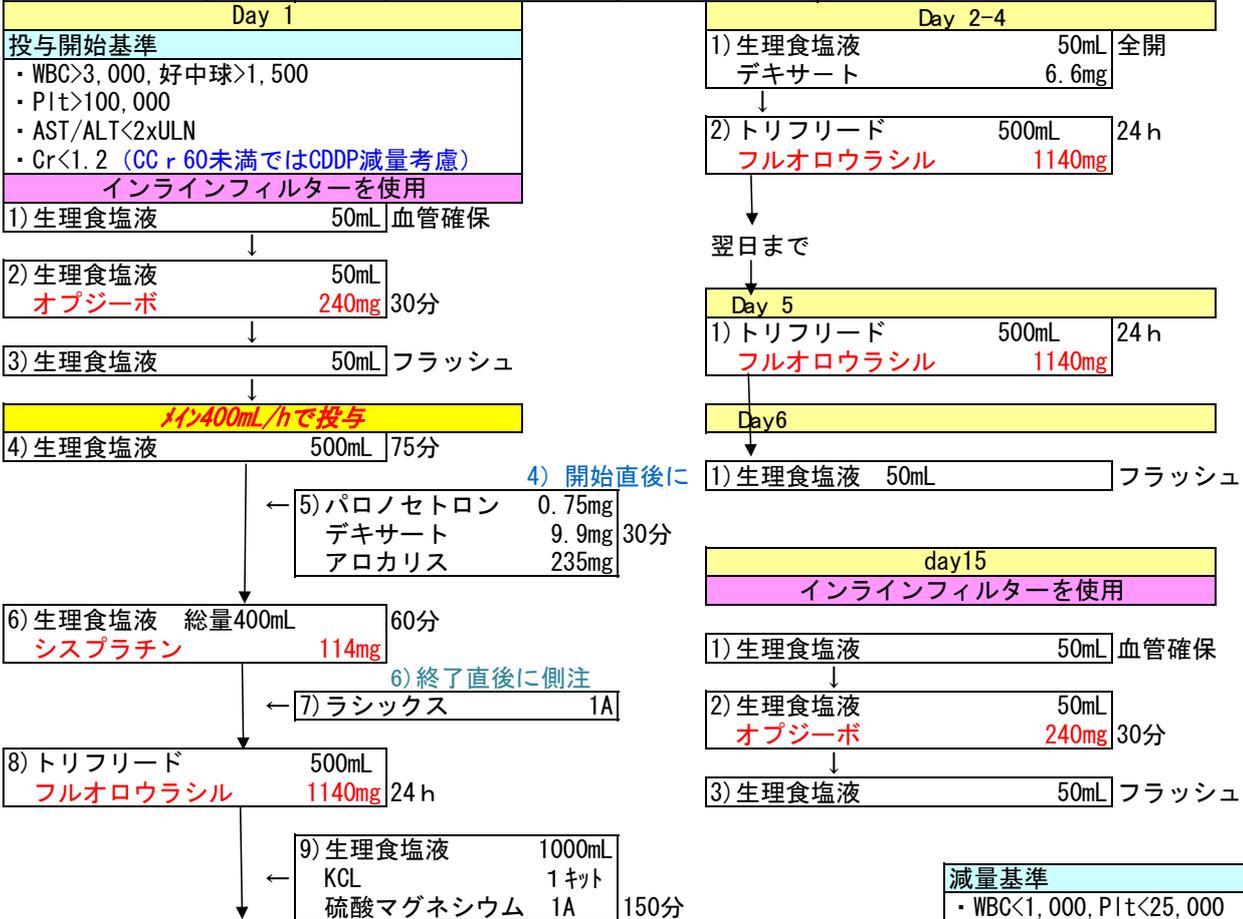
2025年4月改訂

治療法名	FP 800/80+オブジーボ		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
患者名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28
オブジーボ	240 mg	↓									↓				↓
フルオロウラシル	800 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓									↓
シスプラチン	80 mg/m ²	↓													↓
パロノセトロン	0.75mg	↓													↓
デキサート	9.9mg	↓													↓
デキサート	6.6mg		↓	↓	↓										↓
アロカリス	235mg	↓													↓
オランザピン	5mg	↓	↓	↓	↓										↓

治療開始日		治療間隔	4週間毎	予定コース数		コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m ²	
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min			



注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌
 *1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談 (毎日1日1回体重測定)
 *オランザピン5mgはday1 の時から

減量基準
・ WBC<1,000, Plt<25,000
・ 発熱性好中球減少 →CDDP 60, フルオロウラシル600に減量
・ Cr>1.5 →CDDP 60に減量

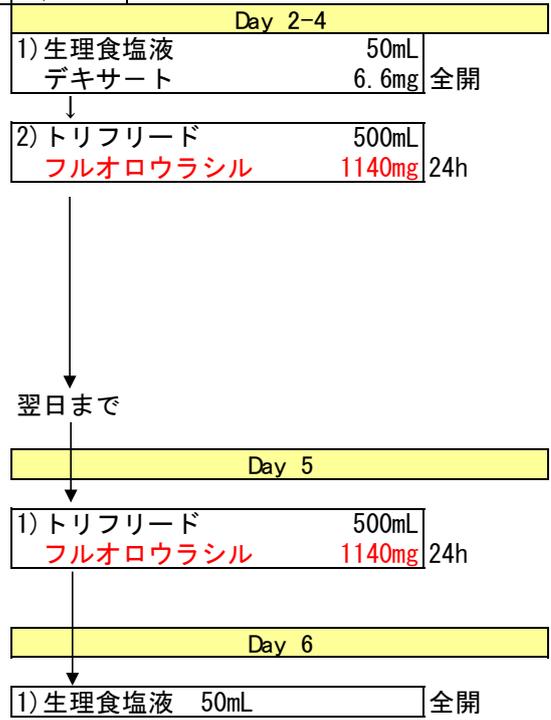
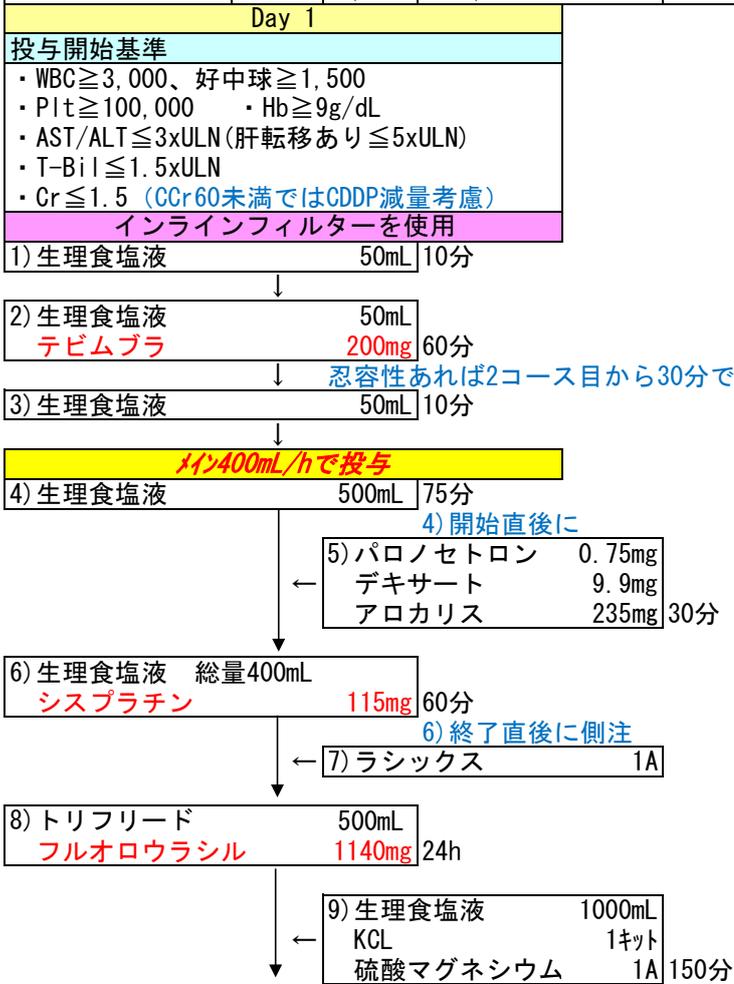
化学療法計画書

2025年12月作成

治療法名	FP 800/80+テビムブラ		
コース数		コース目	
腫瘍種	食道がん		
氏名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...
	予定日	1/0							1/7		1/14			1/21
テビムブラ	200 mg	↓												↓
フルオロウラシル	800 mg/m ²	↓ ↓ ↓ ↓ ↓												↓ ↓ ↓ ↓ ↓
シスプラチン	80 mg/m ²	↓												↓
パロノセトロン	0.75mg	↓												↓
デキサート	9.9mg	↓												↓
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓											↓ ↓ ↓
アロカリス	235mg	↓												↓
オランザピン	5mg	↓ ↓ ↓ ↓												↓ ↓ ↓ ↓
治療開始日														
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m ²									
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min											



減量基準
WBC < 1,000、Plt < 25,000
発熱性好中球減少 → CDDP60、フルオロウラシル600に減量
Cr > 1.5 → CDDP60に減量

注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
 (毎日1日1回体重測定)

*オランザピン5mgはday1の夕から

化学療法計画書

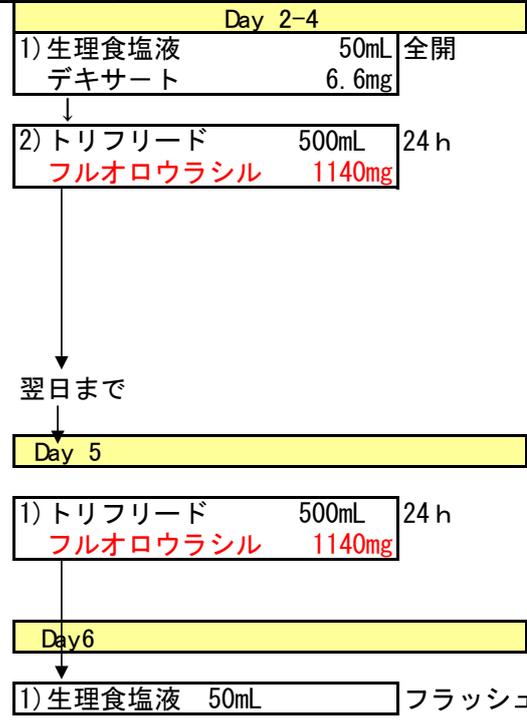
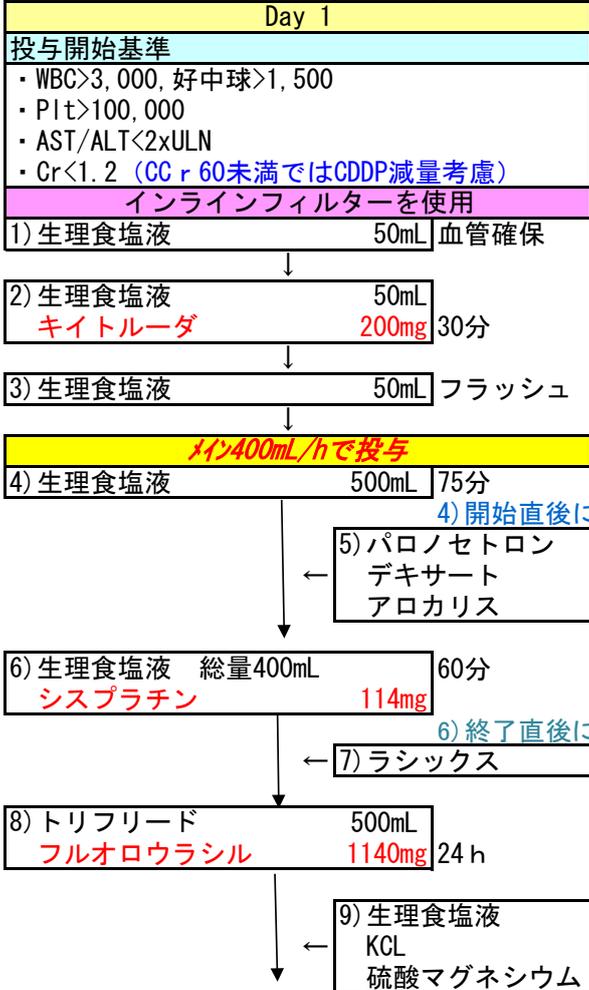
2025年4月改訂

治療法名	FP 800/80+キイトルーダ		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
患者名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21	
キイトルーダ	200 mg	↓											↓	
フルオロウラシル	800 mg/m ²	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓								↓↓	↓↓
シスプラチン	80 mg/m ²	↓											↓	
パロノセトロン	0.75mg	↓											↓	
デキサート	9.9mg	↓											↓	
デキサート	6.6mg		↓	↓	↓								↓	↓
アロカリス	235mg	↓											↓	
オランザピン	5mg	↓	↓	↓	↓								↓	↓

治療開始日		治療間隔	3週間毎	予定コース数	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m ²
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min		



減量基準
・ WBC < 1,000, Plt < 25,000
・ 発熱性好中球減少 → CDDP 60, フルオロウラシル600に減量
・ Cr > 1.5 → CDDP 60に減量

注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
(毎日1日1回体重測定)

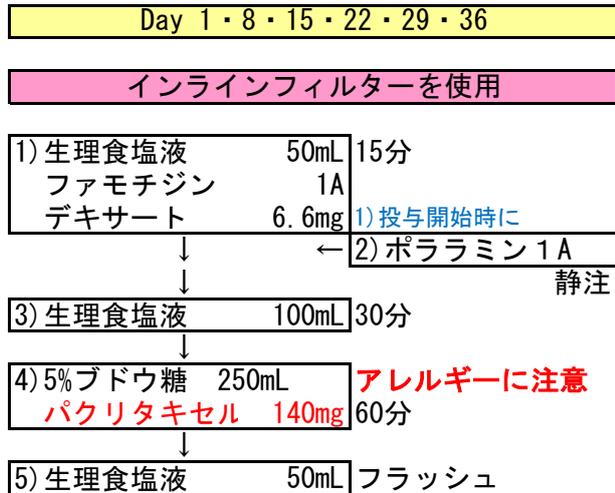
*オランザピン5mgはday1の夕から

化学療法計画書

2024年6月改訂

治療法名	パクリタキセル100mg/m ² 毎週								
コース数		コース目							
腫瘍種	食道がん								
患者名		♂	年齢						
患者ID	生年月日								
部署		主治医	科	Dr					
開始予定日									
治療内容	Day	1	8	15	22	29	36	43	50
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4		
パクリタキセル	100 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
デキサート	6.6mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
ファモチジン	1A	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
ポララミン	1A	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
治療開始日		治療間隔		8週毎	予定コース数		PDまで		
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433 m ²		
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50		mL/min			

投与開始基準 (day1)
<ul style="list-style-type: none"> ・ WBC>3,000かつNeu>1,500 ・ Plt>75,000 ・ 神経毒性G2以下 ・ 他のG2以上の非血液毒性なし ・ PS 0-2
減量基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ G4の好中球減少 ・ FN ・ Plt<20000 ・ G3の非血液毒性 ・ G2以上の神経毒性、関節痛 筋肉痛 ⇒80mg/m ² ⇒60mg/m ²
投与可否の基準 (day8, 15, 22, 29, 36)
<ul style="list-style-type: none"> ・ WBC>2,000かつNeu>1,000 ・ Plt>50,000 ・ 神経毒性G1以下 ・ 他のG2以上の非血液毒性なし



化学療法計画書

治療法名		オプジーボ/ヤーボイ			
コース数		コース目			
腫瘍種		非小細胞肺癌 食道がん			
患者名				♂	年齢
患者ID		生年月日			
部署		主治医		科	Dr
開始予定日					
治療内容	Day	1			22 43
	予定日	1/0			1/21 2/12
オプジーボ	360 mg/ body	↓			↓
ヤーボイ	1 mg/kg	↓			↓
治療開始日	治療間隔		6週毎	予定コース数	
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min		

day1

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 血管確保

↓
2) 生理食塩液 50mL
オプジーボ 360mg 30分

↓
3) 生理食塩液 50mL 30分
(観察)
(ヤーボイ5mg/mL)

↓
4) 生理食塩液 50mL
ヤーボイ 50mg 30分

↓ ヤーボイの液量分+10mLを生食から
↓ 抜き、ヤーボイ分を生食に追加
↓ 総液量は40mL

5) 生理食塩液 50mL フラッシュ

ヤーボイ
BW: 40kg未満の場合
総液量を30mLとする

day22

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 血管確保

↓
2) 生理食塩液 50mL
オプジーボ 360mg 30分

↓
3) 生理食塩液 50mL フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意
(軽度 ~ 中等度)
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

化学療法計画書

治療法名	ドセタキセル単剤70mg/m ²															
コース数	1	コース目														
腫瘍種	卵巣がん、食道がん、子宮体がん、前立腺がん、HER2陽性唾液腺導管がん															
患者名		性別	年齢													
患者ID	生年月日															
部署		主治医	科	Dr												
開始予定日																
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21			
ドセタキセル	70 mg/m ²	↓											↓			
グラニセトロン	1 mg	↓											↓			
デキサート	6.6mg	↓											↓			
デカドロン	8 mg		↓	↓	↓								↓	↓	↓	
ジースタ	3.6mg		↓										↓			
治療開始日		治療間隔		3週毎	予定コース数		6		コース							
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433		m ²							
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50		mL/min										

Day 1

投与開始基準 ・好中球>2,000 ・Plt>100,000 ・AST/ALT<2xULN, T.Bil<1.5 (肝転移による上昇除く) ・G2以上の非血液毒性がない ・PS 0-1. PS 2は十分注意 ・AST/ALT>1.5xULNかつALP>2.5xULN, またはT.Bil>1.2 →減量考慮
次コースからの減量基準 ・WBC<1,000, Plt<25,000 ・発熱性好中球減少 →10mg/m ² 減量考慮 ・悪心嘔吐、脱毛除くG2以上の 非血液毒性 →10mg/m ² 減量を考慮

1) グラニセトロン 1 mg
 デキサート 6.6mg 30分

↓
 2) 5%ブドウ糖 250mL
 ドセタキセル 100mg 60分

↓
 3) 生理食塩液 50mL フラッシュ

* 投与開始時まず5mL早送りし、10分間は50mL/hとして
 ベッドサイドで嚴重にアレルギー症状を観察
 問題なければ250mL/hへ

デカドロンは day 2 の朝から

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	放射線併用 FP1000/75		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
患者名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

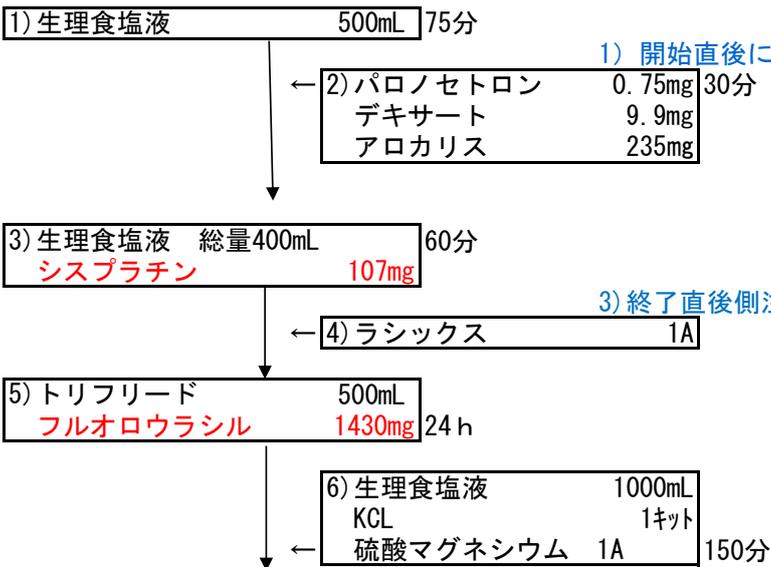
開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
フルオロウラシル	1000 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓									↓	↓
シスプラチン	75 mg/m ²	↓													↓	↓
パロノセトロン	0.75mg	↓													↓	↓
デキサート	9.9mg	↓													↓	↓
デキサート	6.6mg		↓	↓	↓										↓	↓
アロカリス	235mg	↓													↓	↓
オランザピン	5mg	↓	↓	↓	↓										↓	↓
治療開始日																
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433	m ²								
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min											

Day 1

投与開始基準
・ WBC > 3,000, 好中球 > 1,500
・ Plt > 100,000
・ AST/ALT < 2xULN
・ Cr < 1.2 (Cr 60未満ではCDDP減量考慮)

メイン400mL/hで投与



注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
(毎日1日1回体重測定)

*オランザピン5mgはday1 のタから

Day 2-4

1) 生理食塩液	50mL	全開
デキサート	6.6mg	

2) トリフリード	500mL	24h
フルオロウラシル	1430mg	

翌日まで

Day 5

1) トリフリード	500mL	24h
フルオロウラシル	1430mg	

Day 6

1) 生理食塩液	50mL	フラッシュ
----------	------	-------

減量基準
・ WBC < 1,000, Plt < 25,000
・ 発熱性好中球減少
→ CDDP 60, フルオロウラシル800に減量
・ Cr > 1.5
→ CDDP 60に減量